

マーマレードの聖地「やわたはま」を確立する（八幡浜市） ～地域ブランドの確立及び柑橘産業の付加価値化プロジェクト～



【概要】

愛媛県の西南部、日本一長い佐田岬半島の付け根に位置する八幡浜市は、柑橘栽培が盛んな地域で、品質・生産量ともに全国トップクラスですが、近年の柑橘の消費量減少に伴い、今後は6次産業化による商品開発を推進し、柑橘農家の所得向上を図る必要があります。

2019年からは英国発祥の世界的なマーマレードコンテストを日本で初めて招致し、「ダルメイン世界マーマレードアワード&フェスティバル日本大会」が開催されています。また、マーマレードを身近に感じてもらうため、八幡浜市では5月14日を「マーマレードの日」として、マーマレードを使ったお菓子の配布や、マーマレード色のポスターの設置、オリジナル切手の作成などにより、大会を盛り上げています。

今後は、「マーマレードの聖地やわたはま」という確固たる地域ブランドを確立し、柑橘産業の付加価値化を目指したいと考えています。

【ミッション】

- ・八幡浜産マーマレードの認知度向上及び地域ブランド確立の提案
- ・柑橘産業の付加価値化の提案

【地域の特徴】

- ・県内有数の温州みかんの生産地で、特に「日の丸」「真穴」「川上」「蜜る（みつる）」ブランドは最高級品として人気です。
- ・四国でも有数の魚市場があり、魚市場に隣接する「道の駅みなと」内の「どーや市場」では、新鮮な魚を購入可能です。



みかん畑



道の駅・みなとオアシス
「八幡浜みなと」



どーや市場